

省エネ仕様基準

省エネ仕様基準では、断熱材、開口部、設備機器等の入力 をおこない、最終的に省エネ仕様基準図を作成するまでの流 れを解説しています。

省エネ仕様基準

| 1. 省エネ仕様基準の概要 | 1 |
|--------------------|----|
| 1−1 省エネ仕様基準の基本的な流れ | 1 |
| 2. 省エネ仕様基準の自動判定 | 2 |
| | 2 |
| 2-2 自動判定の実行 | 3 |
| 3. 自動処理の確認・変更 | 7 |
| 3-1 部屋区画の確認と変更 | 7 |
| 3-2 開口部の判定を確認 | 9 |
| 4. 設備機器の配置 | 10 |
| 4-1 暖冷房設備の配置 | 10 |
| 4-2 換気設備の配置 | 13 |
| 4-3 照明設備の配置 | 14 |
| 4-4 給湯設備の配置 | 16 |
| 5. 省エネ仕様基準(立面図)の作成 | 19 |
| 5-1 立面図の作成 | 19 |
| 6. 省エネ仕様基準(断面図)の作成 | 20 |
| 6-1 断面図の読込 | 20 |
| 6-2 断熱材の入力 | 21 |
| 7. 省エネ仕様基準図の作成 | 26 |
| 7-1 省エネ仕様基準図を開く | 26 |
| 7-2 仕上表の配置 | 27 |
| 7-3 開口部一覧表の配置 | 28 |
| 7-4 設備機器一覧表の配置 | 29 |
| 7-5 平面図の配置 | 30 |
| 7-6 断面図の配置 | 32 |
| 7-7 データの保存 | 33 |
| 8. 図面印刷 | 34 |
| 8-1 図面印刷を開く | 34 |
| 8-2 設定の確認変更 | 35 |
| 8-3 図面の配置 | 36 |
| 8-4 図面の印刷 | 37 |
| 8-5 ZEROの終了 | 37 |

省エネ仕様基準の概要

省エネ適合の義務化に伴い、国土交通省ガイドブックに沿った断熱性能を満たした仕様基準図を作成します。 本書では、入力済みの平面図、屋根伏図、立面図、断面図などの基本データをもとに、断熱性能を満たした屋根・外壁・サ ッシ・設備などを選択し配置することによって仕様基準図を作成します。

1-1 省エネ仕様基準の基本的な流れ

1

次のフロー図は、省エネ仕様基準の基本的な流れと、本書での各項目の解説内容を示したものです。



2 省エネ仕様基準の自動判定

平面図、屋根伏図、天井伏図などのデータを元に、部屋区画や平面の断熱範囲の自動配置と判定を行います。 個別で読み込みや配置などの処理を行うこともできますが、ここでは、【断熱材】【開口部】【設備機器】から構成されたウィザー ド形式の自動処理を行います。

2-1 省エネ仕様基準の起動

省エネ仕様基準を起動します。

● 「処理選択 |ダイアログの「意匠 |タブの「申 処理選択 請・性能(2025~)」をクリックします。 物件名:68:福井太郎様郎新範工事(開始) 備 考 :省工ネ仕様基準(開始) 作成日:2018/03/08 主構造:在来木造 区面一覧 - ARCHIE 意匠 構造 積算 共通 マスタ専用 2023 基本・実施・プル*ン ②「省エネ仕様基準」をダブルクリックします。 EXX 5 実施・パース・プルビン 木造壁量計算2025 木造壁量計算表2025 耐震診断 日影・天空図 図面印刷 申請・性能(2025~) ❸ 「図面選択」ダイアログで「1 階」をダブルクリ A 申請・性能 性能表示 ックします。 X 設備図 「省エネ仕様基準」が起動します。 CASBE 1 BR 法規LVS 省IA什様基進网 CASBEE The 回面選択 - <省环住楪基準> ? 1 図面一覧 □ バックアッフ・ファイル >>97N92 7197 OK 階/面 1階 2階 R階 更 自動立上 3) キャンセル フルメニュー ▼ 新機能のご紹 【部材/床モード】 現在の表示モードが赤く表示されています。 【複数選択】 [Ctrl] + 選択 [Shift] + 選択 クリックして切り替えることもできます。 モードによって表示されるデータが切り替わります。非居室の確認 なども含め、部屋関連の操作は床モードでおこないます。 表示9/7° 2×2 • 16) / 68-短井士郎梯京新祭丁寨(蘭拉)、,11階 余1244梯幕()) n x C ARC 🏡 ファイル(E) 物体(B) 編集(E) 表示(D) ツール(D) 設定(S) ウィンドウ(<u>W</u>) 🖹 E o 🕅 길 김 ⁴卷⁸종⁸종 ≠Ę 9 Q 🖓 8 🖬 🖬 🖷 レイヤ表示切替 · 001 7 -夕 00: - 1 - R1 - 2 2% 4% 緩和 6 跳城 Auto 自論 し、建築 基準回 住機基準 部床 8 シレ 18 ク腱目目 情報 【地域区分】 現在設定されている省エネ地域の 区分が表示されています。 クリックして変更することができます。 ⊘削除 1階 省121仕様基準 🔂 0.0: 0.0 × 910.0 Y: 910.0 1/100 90.0度 NUM CAPS をりません。淡

2-2 自動判定の実行

自動コマンドの実行

参照データ(平面図、屋根伏図、天井伏図の必要データ)、断熱範囲、部屋区画、建具、外気床データが配置されます。 ※本書では、インナーガレージの車庫などがある場合に配置する外気床データは含まれません。

参照データや部屋区画の属性等の詳細については、ヘルプを参照してください。



| 補品 — | | | | | | | | |
|-------------------|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 「自動」で配置されるデータについて | | | | | | | | |
| 部屋区画 | 外部部屋を含む全ての部屋と、部屋とみなされる出窓壁(地袋あり、または出が500以上)が対象になります。 「出窓壁」は取り付く部屋の区画属性を反映します。 | | | | | | | |
| 断熱範囲 | 外部部屋を除いた部屋と出窓壁(地袋あり、または出が500以上)の外周領域(部屋芯)に、断熱範囲を自動配置 します。平面図の部屋属性で「外部部屋」に設定している部屋は、範囲作成の対象外になります。 R階の断熱範囲の配置は、屋根がONの場合は断熱範囲を配置しません。天井がONの場合は断熱範囲を配置します。 屋根・天井の両方ONの場合は配置します。また、両方OFFの場合にも配置します。 | | | | | | | |
| 建具 | 配置済みの「参照(建具)」データに対して「建具」データを配置します。 | | | | | | | |
| 外気床 | 現在階が下階よりはみ出している床に自動配置します。 | | | | | | | |
| ※ 配置条 | 作の詳細については、ヘルプ参照。 | | | | | | | |

断熱材と部位の確認

設置の対象部位と使用する断熱材を設定します。 本書では、入力例として天井断熱ではなく屋根断熱に切り替えます。

- 1 対象部位を設定確認します。 本書では「屋根」チェックをオン、「天井」チェックをオフにします。 また、「床(外気)」はオフ、その他はオンとします。
- 2 部位の工法、断熱材を確認します。 右図では、操作例として「壁」で解説しています。
- ※ NG のときは、「NG」表示と製品名、設計 R 値を赤字で表示します。
- ❸ 各部位で R 値がクリアしていることを確認して、「次へ」をクリックします。

「開口部」ページに切り替わります。

「開口部」タブをクリックしても切り替えること ができます。



断熱材を変更するときは、右クリックしてポップアップメニューから「仕様入替」を選択、またはダブルクリックして、「断熱材登録」ダイアログから断熱材を選びます。

※3Dカタログ有料会員の場合は3Dカタログからメーカー製断熱材を選択することもできます。

| - | A H L THE | | | - 307 | יכםפנ | com | | | | | |
|-----------------------------|------------|---|-----|--------|--------|------------|-----------------------|-----|--|--|--|
| 图122.47 | C III E NR | | | | | | | | | | |
| メーカー | すべて | 断熱材登録 <c:\fcapp\atzero\atzeromaster\省环></c:\fcapp\atzero\atzeromaster\省环> | | | | | ? | × | | | |
| 靜位 | 外壁 | a so de de seu del territo del | | | | | | | | | |
| 青遺 | 軸組構法 | 30万岁口夕前兰树 AIZERO前兰树 | | | | | | | | | |
| 物の種類 | オペア | ○ 断熱材 ○ 仕上·下地 | | | | | | | | | |
| | 12.14 | メーカー すべて ・ | | | | | | | | | |
| 明顯相一寬 | | | | | | | | | | | |
| the state of the | 助機杯 | | | | | | | | | | |
| POOPEOL | 1-22k | 助规初一覧 編集 | | | | | | | | | |
| | | No. 断熱材名称 | 50T | 熟伝導平 | 厚さ[mm] | 熟想拢R | スペック | _ | | | |
| | | 1 グラスワール断熱材通常品10-50 | | 0.0500 | 100.0 | 2.0 | | | | | |
| | | 2 クラスワール断熱材運搬品16-45 | | 0.0450 | 100.0 | 22 | | - | | | |
| | | 3 クラスリール研究和JBR品20-42 | | 0.0420 | 100.0 | 2.4 | | - 1 | | | |
| | | 4 クラスリール研究的が運搬品24-38 5 ポニスカード NCR5441200 日 00 00 | | 0.0380 | 100.0 | 2.0 | | _ | | | |
| | | | | 0.0360 | (35.0) | 22 | | - | | | |
| | | 0 クラスワール研究所存在10-56 フ ポニスカール # #2#147576445日 いっいの co | | 0.0380 | (75,0) | 2.0 | | _ | | | |
| | | 7 シラスワール町RENTAREN118EcoHG10-68 | | 0.0380 | 89.0 | 2.3 | | _ | | | |
| | | 8 シワスワール町RENTRENEREDHUID-38 | | 0.0380 | 90.0 | 2.9 | | _ | | | |
| | | 3 シラスワール研究所用注意のHG10-30 10 分子フロール単位数対応の分析用いたが 200 | | 0.0300 | 105.0 | 2.0 | | _ | | | |
| | | 10 シリスリールの10010日日1010-30 11 新三フロール単純数は1000年月1018 00 | | 0.0300 | 140.0 | 3.2 | | _ | | | |
| | | 10 MERCENCE UNERSTATION OF D | | 0.0300 | 140.0 | 0.1 | | _ | | | |
| | | 12 ジリスワールのISSNI面注配のING10-00 12 ガニフロニョル新動材高速が発見し024-28 | | 0.0300 | 105.0 | 9.1 | | _ | | | |
| | | 10 ジリスジールのISSNIB1ERCBR024-00 14 ガニフロール新聞地震地的品は024-00 | | 0.0300 | 120.0 | 2.3 | | _ | | | |
| | | 15 ガラフウール新熱材溶性的品目の24-26 | | 0.0000 | 140.0 | 3.0 | | _ | | | |
| | | 16 グラフロール新動材高価能品1024-06 | | 0.0350 | 155.0 | 43 | | _ | | | |
| | | 17 グラフウール新動材高性能品目の20-35 | | 0.0350 | 105.0 | 3.0 | | _ | | | |
| | | 18 グラスウール新熱材高性能品出340-34 | | 0.0340 | 105.0 | 31 | | _ | | | |
| | | 19 グラスウール新時材高性能品HG49-33 | | 0.0330 | 105.0 | 32 | | _ | | | |
| OK | キャンセル | 20 吹込み用グラスウール新数材13K | | 0.0520 | 210.0 | 4.0 | | | | | |
| | | 21 吹込み用グラスウール新動材13K | | 0.0520 | 300.0 | 5.8 | | _ | | | |
| | | 22 吹込み用グラスウール断熱材13K | | 0.0520 | 350.0 | 6.7 | | _ | | | |
| | | In Mall 1. HARLIN M. II HOAMSTINK | | 0.0500 | 400.0 | 77 | | | | | |
| | | OK Acett | | | い内内原表 | いま 液理(金に変) | हित्ते वा क्रि. रू. व | | | | |

開口部の計画ポイントを確認

建具仕様等、開口部の計画ポイントを確認します。

- 建具仕様に3DカタログかZERO建具のどちらを使用するかを設定します。
 本書では、3Dカタログ建具を使用します。
- 2「開口部」に記載の解説を確認して、「次 へ」をクリックします。

「設備機器」ページに切り替わります。





各設備機器の条件を設定





3 自動処理の確認·変更

自動で配置された参照データや断熱材などの処理内容の確認をおこないます。 本書では、操作例として部屋区画の属性の確認と一部居室から非居室へ変更します。また、建具を一覧で表示して、性能 値や判定を確認します。

3-1 部屋区画の確認と変更

部屋区画の確認と、必要に応じて属性(居室・非居室)を変更します。

特に、照明機器は基本的に非居室に配置するため、設備機器の入力の前にあらかじめ非居室区画部分の確認をおこなう 必要があります。本書では操作例として玄関を居室から非居室へ変更します。

※照明設備は非居室が対象ですが、非居室となる部屋の判断は審査機関等にお問い合わせください。



部屋区画の属性を変更

本書では、操作例として1Fの玄関と階段、2F階段を居室から非居室に変更します。

- 「属性変更」をクリックします。
- 2 「玄関」をクリックします。

「部屋区画」ダイアログが表示されます。

- ※区画の斜線部分をクリックすると選択しやす くなります。
- ③「非居室」をオンにして「OK」をクリックします。

属性が居室から非居室に変更されます。

- ※区画内の表示が右下がりの斜線から格子 状の斜線に切り替わります。

部屋区画の属性変更が終了したら、次の操作の為、各階「部材モード」に、また画面は「1F」に戻します。





3-2 開口部の判定を確認

開口部一覧を表示し、判定を確認します。

本書では確認のみとしますが、NG等が表示された場合には、必要に応じて、建具の仕様等を変更します。



4

設備機器の配置

各種設備機器(暖房・冷房・換気・照明・給湯)を配置します。

4-1 暖冷房設備の配置

暖冷房設備(エアコン)を配置します。本書では室内機、室外機の順に配置します。

室内機の配置

認します。

室内機を配置します。

- ●「設備」メニューから「暖房」を選びます。 「暖房設備」ダイアログが表示されます。 本書では、暖冷房設備を配置しますの で、「暖冷房」チェックが ON であることを確
- ②「設備備考」ボックスに、機器の型番等仕様表に記載される内容を記載します。

操作例として、以下の様に入力します。

●●-●●●404W 暖房性能 4.0kW 冷房性能 5.0kW

③「室内機」がON であることを確認して、平面で記載する室内機に対する文字列の 内容を記載します。

操作例として、以下の様に入力します。

RA (い)

④「記号」ボックスから室内機の記号を選択します。

ここでは、初期状態(右図参照)のまま とします。

- 5 ここでは、任意入力しやすいように、ピックモ ードを「グリッド」「線上」をONに、グリッド分 割を「4」にします。
- ⑥ 室内機の始点をクリックします。

操作例では、水平グリッド上の壁面をピック の線上で指定しています。

- ・ 始点と対角に終点をクリックします。

 操作例では、グリッドの4分割上の交点を
 指定しています。
- ③ 上記③で入力した文字列の配置位置をク リックします。





6 右図の様に、2Fに切り替えて、1Fと同様な暖冷房 設備(エアコン)を入力します。

暖冷房設備の入力が完了したら、1Fに戻ります。



換気設備を配置します。本書では、ユニットバスに「壁付け式第三種換気設備」の換気設備機器を配置します。



非居室区画に照明設備機器を配置します。

本書ではブラケットライトとダウンライトを配置します。また、配置後に部屋名と重なった部分は、部屋名を移動編集します。



ダウンライトの配置

ダウンライトを配置します。(1Fでは玄関)

 ●「設備備考」ボックスに、機器の型番等仕 様表に記載される内容を記載します。
 操作例として、以下の様に入力します。

LEDD-●●●

2「記号」ボックスから照明設備機器の記号 を選択します。

ここでは、ダウンライト(LED)を選択しま す。

③本書では、グリッドで基準点入力するため、「グリッド」がONであることと、配置基準(本書では中心)、入力方法が「1点」であることを確認し、照明設備機器の配置位置をクリックします。



上記、玄関部分のダウンライト配置で重複 した部屋名を移動します。

- 「部屋」メニューから「部屋名移動」を選びます。
- 2 移動する部屋名(ここでは「玄関」)をク ックします。
- 3 部屋名の移動先をクリックします。



照明設備機器の入力が完了したら、1F に戻 ります。



タリンライトの場合も記号の向き は、入力前にマウスホイールを押 すごとに反時計まわりに90度ず つ回転させることができます。





1階 省13社機基準 2階 省13社機基準 🔂

給湯設備(エコキュート)を配置します。本書ではヒートポンプユニット、貯湯ユニット(タンク)の順に配置します。



貯湯ユニットの配置

貯湯ユニットを配置します。

- 2「記号」ボックスから室外機の記号を選択します。

ここでは、初期状態(右図参照)のまま とします。

- ⑤ 貯湯ユニットの始点をクリックします。 操作例では、壁面から少し離れた、グリッド の4分割上の交点を指定しています。
- ④ 始点と対角に終点をクリックします。 操作例では、グリッド上の交点を指定しています。
- 5 上記①で入力した文字列の配置位置をク リックします。



判定内容の確認

入力した設備機器に対して、一覧表で判定の確認をおこないます。 本書では確認のみとしますが、NG等が表示された場合には、設備機器の変更等を検討しクリアするように入力し直します。

- ●「設備」メニューから「設備機器一覧」を選びます。「設備機器一覧」ダイアログが表示されます。
- 2 設備機器の仕様や判定を確認し、必要に応じて 機器の変更等を検討します。

本書では、確認のみとします。

③「閉じる」をクリックして、ダイアログを閉じ、変更確認を終了します。



置したときに表示されます。

| 設備機器一覧 | | | | | 4 | | | ? × | |
|--|--------------|---------------|---------------------------------|-------------|--------------------------|---------|-------------------------------------|--------|--|
| 階 1階 🗸 | Zoom 項E | 1 | 谐 部屋 | 小項目 | f | 仕様 | 備者 ※ | 判定 | |
| | <u>.</u> | | 1 LDK | 暖房方式 種類等 | 居室のみを暖房 ルームエアコンディショナー | -((, 1) | ●●-●●● 暖房性能 4.0kW (涂房性能 5.0kW | ок | |
| | | 備 | | 暖房方式 | 居室のみを暖房 | | 00-000404W | | |
| | | | 2 主寝室 | 種類等 | ルームエアコンディショナー | -((, 1) | 暖房性能 4.0kW 冷房性能 5.0kW | OK | |
| | | | 1 1.04 | 冷房方式 | 居室のみを暖房 | | | or | |
| | | n. / +++ | LDR | 種類等 | ルームエアコンディショナー | -((, 1) | 冷房性能 5.0kW | UK I | |
| | /范房記 | \$1/ m | | 冷房方式 | 居室のみを暖房 | | | | |
| | | | 2 王援室 | 種類等 | ルームエアコンディショナー | -((, 1) | 暖房性能 4.0kW 冷房性能 5.0kW | OK | |
| 6 一戸建ての住宅 | 6 一戸建ての住宅 換気 | | | 換気方式等 | 壁付け式第三種換気設備 | | | ок | |
| | | | 玄関 | 非居室の仕様等 | LED | | LEDD | ок | |
| | | | 1 UB | 非居室の仕様等 | LED | | LEDB | ок | |
| | | | | 非居室の仕様等 | LED | | LEDB | ок | |
| 追加変更した備考等を図面に | | 资価 | 玄関ポーチ等 | 非居室の仕様等 | LED | | LEDB-�� | ок | |
| 反映する場合は、「変更内容 | | | 物入 | 非居室の仕様等 | LED | | LEDD-�� | ок | |
| 7 四面]27777089。 | J | | 2 ウォーウインクローセ [®] ット | 非居室の仕様等 | LED | | LEDD | ок | |
| 2 | | 的備 | | 仕様等 | ー | | ●●-●●●550 JIS効率 3.1 | ок | |
| 間でる | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| 判定にNGがある場合には、 暖房・冷房設備の「室外機(熱 設備機器の入力時に、「設備備考」に | | | | | | | | | |
| | | | | | が表示されます | | | | |
| | | | | | | | | | |
| 字になり、画面下部(| こ赤文字 | - 機器2」は表示しま | | | きせん。 おた、背景 | | が黄色のセルは、タフノ | レクリックし | |
| でNGに対するメッセー | ジが表示 | | | | | | 、力が可能で、追加化 | 修正等行 | |
| +わます | | | | | | 5±7 1- | もた内容は「仕様目 | ミーズキロを | |
| C11590 | | J | | | | ሊ መን እር | リロに凹谷はゴム物子 | ×」CUI推 | |
| | | | | | | 認でき、省 | Iネ仕様基準図で仕 | 様表を配 | |

5 省エネ仕様基準(立面図)の作成

※この操作には、あらかじめ基本データの「立面図」において、立面図を作成しておく必要があります。

5-1 立面図の作成

基本データで作成された立面図をもとに、省エネ仕様基準の立面図を作成します。

本書では、日射遮蔽措置を庇等で対策している窓が無いので立面図の添付は不要ですが、操作の紹介として、南側1面を 基本データの立面図から読み込んだ後、確認のみとします。寸法等が必要な場合は、必要に応じて追記して立面図を編集し ます。



省エネ仕様基準(断面図)の作成

省エネ仕様基準の断面図を作成します。任意の2面以上の断面図が必要です。 ※この操作には、あらかじめ基本データの「断面図」において、断面図を作成しておく必要があります。

6-1 断面図の読込

断面図(1 面)の読込

6

基本データで作成された断面図(1面)を読み込みます。

①「省エネ仕様基準(断面)を開く」をクリッ ●●● 外気床 2% 4% 緩和 6 1 Auto 自動 日断 ● 部屋 面 仕様基準 部床 設備 基準図 地域 断熱材 断熱 建具 土様表 表更新 クします。 「図面選択」ダイアログが表示されます。 図面選択 - <省以仕様基準 断面> × ②「(1面)」をダブルクリックします。 200-11 OK 「1面省エネ仕様基準断面」ウィンドウ (2) が表示されます。 ③「読込」をクリックします。 キャンセル 基本データの「断面図」で作成された断面 空回面挿入 図(1面)が読み込まれます。 . Q, a 6 D# ΠĦ ④ 読み込みの確認メッセージが表示されます ので、「はい」をクリックします。 基本データの「1面断面図」が読み込ま 表示9/7* 2×2 れます。 読込 3 1面 断面図 を読み込みます。 よろしいですか? ◆ 戻る 断熱 属性 いいえ(<u>N</u>) 1.0 (Build:11006) <78:福井太郎様郎新築工事(開始)> - [1面 省斗仕様基準 断面] п 71/10 初件(8) 編集(8) 表示(8) 19元(8) 71/170 合 日 〇 〇、100 55 望 望 世_後 整_合 甲_請 (🗃 🖬 💿 🔕 👓 🕯 Q, しくセ表示切構 B 1 🖢 🗣 😏 P1 **€** ≣8 s. R 小 1階軒高 階FL LDK UВ 1階FL 基礎高 GL

[現 省计社場基準] 消預 省计社場基準] 消預 省计社場基準 立面 (面) 有计社编基单 新面 C22 [文/并不知道#4/2 词如 = 7/4/40.

X 910.0 Y 910.0

1/100 90.000 NUM

読み込んだ基本データの断面図に対して、断熱材を入力します。 本書では、操作例として妻側と平行な断面と、棟部分を切断した断面の2面に対して断熱材を入力していきます。

属性

🗰 • 🕶 🖦 💿 N 2 3 4 5 6

×

/, BA >> +

断熱範囲

外壁・屋根部分の入力(1面)

外壁、屋根部分を多角形で連続入力します。

● 「断熱」をクリックします。

「断熱範囲」ダイアログが表示されます。

- ❷ 補助線や断熱材の交点を基準に入力するため、ピックモードの「交点」を ON にします。
- 3 配置基準が「中央」、入力方法が「多角円形」であることを確認して、ユニッ トバスの土間部分から LDK の壁面の下端まで順に連続入力します。
- ④ マウスの右クリックで表示されるポップアップメニューから「OK」をクリックします。 指定した部分までの断熱材が入力されます。



LDK 床下、UB 立上部分の入力(1 面)

続けて、直線入力で2か所入力します。

- 1 配置基準を「左寄せ」に切り替えて、LDK の床下部分の断熱材を入力します。
- 2 床下部分の断熱材の始点と終点をクリック します。
- 3 マウスの右クリックで表示されるポップアップ メニューから「OK」をクリックします。

床下部分の断熱材が入力されます。



- ④ 配置基準を「中央」に切り替えて、LDKの 床下部分の断熱材を入力します。
- ⑤ UB 立上部分の断熱材の始点と終点をク リックします。
- 3 マウスの右クリックで表示されるポップアップ メニューから「OK」をクリックします。

UB 立上部分の断熱材が入力され、断面 図 1 面の入力が完了します。





断面図(2面)の読込

基本データで作成された断面図(2面)を読み込みます。

 「ウィンドウ」メニューから「他図面を開く」を 選びます。

「図面選択」ダイアログが表示されます。

2「(2面)」をダブルクリックします。

「2面省エネ仕様基準断面」ウィンドウが表示されます。

❸ 「読込」をクリックします。

断面図(2面)が読み込まれます。

- ※ あらかじめ基本データの「断面図」に おいて断面図を作成しておく必要が あります。
- ④ 読み込みの確認メッセージが表示されますので、「はい」をクリックします。

基本データの「1 面 断面図」が読み込ま れます。



外壁・屋根部分の入力(2面)

外壁、屋根部分を多角形で連続入力します。

● 「断熱」をクリックします。

「断熱範囲」ダイアログが表示されます。

- 2 補助線や断熱材の交点を基準に入力するため、ピックモードの「交点」をON にします。
- ③ 配置基準が「中央」、入力方法が「多角円形」であることを確認して、ユニットバスの土間部分からLDKの壁面の下端まで順に連続入力します。
- ④ マウスの右クリックで表示されるポップアップメニューから「OK」をクリックします。 指定した部分までの断熱材が入力されます。





LDK 床下部分の入力(2 面)

続けて、直線入力で1F床下部分に入力します。

- 配置基準を「左寄せ」に切り替えて、LDK の床下部分の断熱材を入力します。
- ② 床下部分の断熱材の始点と終点をクリック します。
- マウスの右クリックで表示されるポップアップ メニューから「OK」をクリックします。

床下部分の断熱材が入力されます。

④ 断熱材の入力が終了したら、「戻る」をクリックして、「1 階 省エネ仕様基準」ウィンドウにもどります。







æ.





7 省エネ仕様基準図の作成

省エネ仕様基準図を作成します。

入力した省エネ仕様基準の各種データをもとに、省エネ仕様基準図を作成します。

本書では、右図の様に仕様表、開口部一覧表、設備機器一覧表、平面図(床面積含む)、断熱材を入力した断面図を順に配置していきます。

※通常は立面図も配置しますが、本書では、開口など 立面で追記する部分はクリアしていたため省きます。



7-1 省エネ仕様基準図を開く

省エネ仕様基準図を開きます。

「省エネ仕様基準図を開く」をクリックします。

「図面選択」ダイアログが表示されます。

2「1面」をダブルクリックします。

「1面省エネ仕様基準図」ウィンドウが表示されます。



7-2 仕上表の配置

省エネ仕様基準で登録したデータから仕様表を配置します。

1

- 「仕上表」をクリックします。 「仕上表」ダイアログが表示されます。
- 2 配置する表の内容を確認して、「OK lをク リックします。

「仕上表」のラバーバンドが表示されます。

3 表の配置位置(左上が基準)をクリック します。

指定した位置に仕上表が配置されます。



0

一度配置した表の位置をずらしたい場 合は、ラバーバンドは表示されたままな ので、希望の位置に再配置します。 先に配置した表は消え、新規に配置し た表のみ表示されます。

ΠE

7-3 開口部一覧表の配置

仕様表に表示される窓・ドアの仕様の根拠となる開口部一覧表を配置します。

- 「開口部一覧表」をクリックします。
 「開口部一覧表」ダイアログが表示されます。
- 2 配置する表の内容を確認して、「OK」を クリックします。

「開口部一覧表」のラバーバンドが表示 されます。

3 表の配置位置(左上が基準)をクリックします。





7-4 設備機器一覧表の配置

仕様表に表示される設備機器の仕様の根拠となる設備機器一覧表を配置します。

- 「設備機器一覧表」をクリックします。 「設備機器一覧表」ダイアログが表示さ れます。
- 2 配置する表の内容を確認して、「OK」を クリックします。

「設備機器一覧表」のラバーバンドが表 示されます。

3 表の配置位置(左上が基準)をクリッ クします。



非居室の仕様等

非居室の仕様等

非居室の仕様等

非居室の仕様等

非居室の仕様等

非居室の仕様等

仕様等

LED

LED

LED

LED

LED

LED

電気ヒートポンプ給湯機[エコキュート]

玄閲

UВ

玄関ポーチ等

物入

ウォークインクローゼット

照明臉備

給湯酸備

? ×

LEDB-000

LEDD-**000**

LEDD-000

●●-●●●550 JIS効率 3.1





断熱範囲、建具記号、設備機器、外気床などを表記した平面図を配置します。 本書では、1、2F平面図(凡例含む)と、床面積表(外気床は省く)を配置します。

1 階平面図の配置

「平面」メニューから「平面」を選びます。

「省エネ仕様基準平面図」ダイアログと、 平面図のラバーバンドが表示されます。

2 配置する平面図のスケール(本書では 初期値のまま:1/100)と階数を確認 して、平面図配置の基準位置をクリック します。

指定した位置に1階平面図が配置され ます。

ー度配置した図面の位置をずらしたい 場合は、ラバーバンドは表示されたまま なので、希望の位置に再配置します。 先に配置した図は消え、新規に配置し た図のみ表示されます。



2F 平面図の配置

- 「省エネ仕様基準平面図」ダイアログの 「階」ボックスを「2階」に切り替えます。
- 2 平面図配置の基準位置をクリックします。

指定した位置に2階平面図が配置され ます。





換気設備の凡例を配置

- 1 「省エネ仕様基準平面図」ダイアログの 「換気設備凡例」を選択します。
- 2 凡例の配置位置をクリックします。 指定した位置に凡例が配置されます。





×

ø

照明設備凡例

40

A 😽 B ...



照明設備の凡例を配置

- ●「省エネ仕様基準平面図」ダイアログの 「照明設備凡例」を選択します。
- 2 凡例の配置位置をクリックします。 指定した位置に凡例が配置されます。



A:



床面積表の配置

●「平面」メニューから「床面積表」を選びます。

「設備機器一覧表」ダイアログが表示されます。

2 配置する表の内容を確認して、「OK」を クリックします。

「設備機器一覧表」のラバーバンドが表 示されます。

3 表配置の基準位置をクリックします。









7-6 断面図の配置

断熱材など省エネ仕様基準(断面)で作成した断面を配置します。

断面図(1面)の配置

「断面」をクリックします。
 「断面図配置」ダイアログと、断面図の

ラバーバンドが表示されます。

2 配置する断面図のスケール(本書では初期値のまま:1/100)と配置する面(初期値のまま:1 面)確認して、断面図配置の基準位置をクリックします。

指定した位置に断面図(1面)が配置されます。







断面図(2面)の配置

- ●「断面図配置」ダイアログから配置する断面を「2面」に切り替えます。
- 2 断面図配置の基準位置をクリックします。

指定した位置に断面図(2面)が 配置されます。



以下のような省エネ仕様基準図が作成されます。



図面の印刷について

次ページにおいて、「図面印刷」から用紙に図枠と図面を配置して 印刷する方法を解説しますが、「ファイル」メニューの「印刷」コマンド で、簡易的にプリンタ出力することができます。



7-7 データの保存

省エネ仕様基準図が完了したので、データを保存します。 ※データの保存は、このタイミングでなくても構いませんが、こまめに保存することをお勧めします。



図面印刷

図面印刷では、用紙に図枠と図面を配置して印刷します。図面をPDFやJw_cadデータなどに変換することも可能です。

8-1 図面印刷を開く

「図面印刷」を開きます。

8

本書での図枠は初期状態のままのA3として解説します。

- ① 省エネ仕様基準図のツールバーから「図面印 刷オープン」をクリックします。
- ※「処理選択」ダイアログから「図面印刷」をダブル クリックしても構いません。



2 「図面選択」ダイアログの「1 面」をダブルクリック します。

1 面 図面印刷のウィンドウが開きます。



表示中のウィンドウが多くなってきたため、誤操作を 少なくするためにも、本書では他のウィンドウを閉じ ておきます。

- ③「1面図面印刷」ウィンドウを開いた状態で、 「他のウィンドウを閉じる」をクリックします。
- ④ データ保存の確認画面で「はい」をクリックしま す。 「1面図面印刷」ウィンドウ以外の図面がすべ

て閉じられます。



8-2 設定の確認変更

「図面印刷」の設定を確認変更します。

図枠の図面タイトルに記載する内容が、すでに省エネ仕様基準図のタイトルとして配置されているため、本書では図枠に配置 する前にあらかじめ図面タイトルを非表示にします。



以下の様に、図面枠を配置したときに、会社名や住所、電話番号などが連動するように、あらかじめ設定しておくとより効率的な作業がおこなえます。

会社情報を設定する

- 「設定」をクリックします。
- 2 「基本設定」をクリックします。
- 3 ツリーから「会社情報」を選びます。
- ④ 会社名や住所、電話番号、□ゴなどを設定して、「OK」をクリックします。



図枠項目を再描画する

設定した会社名や住所、電話番号などを図面枠 に反映させましょう。

- ●「再描画」メニューから「図枠項目再描画」を選びます。
- 2 右図のように、更新する図枠項目を選びます。 図面枠に会社名や住所などが描画されます。



8-3 図面の配置

7章で作成した省エネ仕様基準図を図枠に配置します。

- 1 図面」をクリックします。 「図面一覧」ダイアログが表示されます。
- 2 「図面一覧」ボックスを下にスクロールして、省エ ネ仕様基準図の「1面」をクリックして、「OK」を クリックします。

「図面配置」ダイアログが表示され、図面の範 囲を示したラバーバンドが表示されます。



3 縮尺等、配置置設定を確認して、右図の様に 図枠内にラバーバンドが収まるように、基準位 置をクリックします。

再度「図面一覧」ダイアログが表示されます。



を選択します。



図枠に省エネ仕様基準図が配置されます。

本書では1図面のみですが、複数図面がある 場合は、複数枚の用紙に図面を配置します。



8-4 図面の印刷

図面のレイアウトができたら、プリンタで印刷しましょう。

- 1 「印刷」をクリックします。
- 2 図面の更新日を確認して、「継続」をクリックし ます。



これで、省エネ仕様基準図までを作成する一連の操作が終わりました。各種提出書類と一緒に省エネ仕様基準図を 添付して提出する流れとなります。

また、本書では簡単なオペレーションのみを解説していましたので、その他の機能の詳細についてはヘルプをご覧ください。

8-4 ZEROの終了

③「プリンタの設定」をクリックします。

クすると、印刷が始まります。

設定しています。

します。

設定して、「OK」をクリックします。

作業が終わったら、データを保存して、ZEROを終了します。

